

「ジュニア(シニア)・リーダーが子ども会の未来を創る ～確かな息吹～ No.2」

第73号に続き、リーダー会の活動状況をお伝えします。また、今回は、「子ども会の魅力」についてもお聞きします。インタビュアーにお答えいただくのは、リーダー会副会長(くまもと大会プロジェクトチームメンバー)のお二人です。

事務局 こんにちは。まずは、自己紹介をお願いします。

大村真子さん リーダー会の副会長の大村です。ジュニア・リーダーへは、中学校1年生から参加しています。よろしくお願ひします。

水本智大さん シニア・リーダーの水本です。中学2年生からジュニアリーダーへ参加しています。よろしくお願ひします。

事務局 お二人は、リーダー会の副会長でありプロジェクトチームのメンバーも兼務されておられますが、どんな仕事をされておられるのですか。

大村真子さん リーダー会で行う会議の時に、意見を出します。時には、司会をすることもあります。今、11名のチームメンバーでくまもと大会の企画を考えています。

事務局 12月にあじきた青少年の家での熊本県子連JL研修会をプロジェクトチームで企画・運営までされたそうですが、事前の会議はどのくらい行われたのでしょうか。



九子連旗とともに



リーダー会プロジェクト会議

水本智大さん 4月から4回実施しました。打ち合わせのためにWeb会議も実施しています。

事務局 事前の会議や準備で、楽しかったところ、大変だったところをお聞かせください。

大村真子さん 楽しかったところ

は、プロジェクトチームのメンバーといろんな考えを出し合ったところや研修の準備・リハーサルをしていくところが楽しかったです。

大変だったところは、メンバーから出されるいろんなアイデアを実際行う研修に絞り込むところが結構大変でした。

水本智大さん 楽しかったところは、自分が担当するプログラムを一緒に組み立てていくところや同じ担当の人と考えていくところです。

大変だったところは、会議の回数が限られていたので、当日の流れを十分把握するのに時間がかかったことや具体的などころまで決めるところです。

事務局 12月のJL研修会ご苦労様でした。研修会が終わって、楽しかったところ、大変だったところをお聞かせください。

大村真子さん 楽しかったところは、まず、思ったより、楽しかったです(笑)事前準備の時は、本当にできるのか心配だったんです。実は当日、芦北に行く途中も車の中で「いきたくない」と言っていたんですよ。でも、やってみて、上手くできたところもあったし、参加者の人たちが喜んでくれていたので楽しかったです。

大変だったところは、…予定していたより、時間がかかったり、余ったりしてどうするかをその場で考

えるのが大変でした。また、コロナの感染を防ぐためにソーシャルディスタンスをとりながらの活動にするところが大変でした。

水本智大さん 楽しかったところは、自分が楽しいだけでなくみんなが楽しめたところです。主催者側として関わったところも楽しかったです。

大変だったところは、…全体を動かすところや時間が押したときに進行をうまく修正するところです。でも、参加してくれた人は、私たちの指示に協力してくれました。

事務局 話を九州地区JL研修会に移す前に、今回の広報誌のテーマ「子ども会の魅力発見」につながるお話を聞かせていただけます。お二人は、いつから子ども会に入られたのですか。

大村真子さん 小学生1年生から参加しています。その時にお世話をしてくれたジュニア・リーダーの人に憧れて入りました。

水本智大さん 地域の子ども会は小学校低学年からです。子ども会でスポーツ大会があったり、お楽しみ会や宿泊研修などあって、それが楽しかったです。

事務局 現在大学生ですが、子ども会とかかわり続けられている理由と子ども会の魅力を教えてください。できれば、エピソードなどもご紹介いただけるとありがたい

昨年度から、令和4年度九州地区ジュニア・リーダー研修会くまもと大会に向け、リーダー会が新たなスタートを切りました。本年はプロジェクトチーム会議を開き、準備を進めています。今回は、その取組の様子と想いを皆様にお伝えします。

です。

大村真子さん 続けている理由は、子ども会活動が楽しいからです。また、ふつうの生活していたら、関われない年代の人と一緒にできるところは魅力です。

水本智大さん 中学1年のときに妹がまだ子ども会に入っていたから続けました。中学2年の時、他の子ども会の活動に触れて、ジュニア・リーダーというお世話する側になりたいなと思って継続しました。実は、私は、内気な性格だったんです。でも、他の人と子ども会の活動を通してつながっていくことで今のようにな前向きな性格に変わるきっかけにもなったと思います。子ども会活動には、自分を変える経験ができると思います。

事務局 なるほど、そんな魅力が子ども会にはあるんですね。では、例えば、子ども会（リーダー会）に入るかどうか迷っている子どもがいたらしたら、どんな声かけをされますか。

大村真子さん とりあえず入ってみるのはありだと思います。子ども会活動は、やってみる価値があります。

水本智大さん 他の県の人と関わったり、友達が増えたりするのが一番です。友達を作れることが魅力だと思います。

事務局 是非、このコメントを讀

んで子ども会（リーダー会）に参加したい気持ちを持ってもらいたいですね。では、JL研修会に話を戻しますが、今年、九州地区JL研修会が熊本で開催されると聞いていますが、期日や会場は、決まっていますか。

大村真子さん はい、令和4年8月11日〜13日あしきた青少年の家で開催予定です。

事務局 熊本で開催されるJL研修会はどんな研修会になりそうですか。

大村真子さん JLとしての勉強や九州の各県の交流もあります。熊本ならではのプログラムも考えていますので、楽しい研修会になると思います。

水本智大さん みんなが楽しめるような、熊本のことも知ってもらえるような研修にしたいと思っています。熊本弁も九州の中でも使ってもらったり知ってもらったりしたら楽しいと思っています。

事務局 お二人は、シニア・リーダーとなりますので、くまもと大会を行うジュニア・リーダーの皆さんへどんなサポートを考えておられますか。

大村真子さん ジュニア・リーダーの皆さんの相談に乗ってあげたいと思っています。

水本智大さん 質問されてもすぐに答えを伝えずに、活動においての

ヒントのようなアドバイスをしたいです。サポート側に徹したいと考えています。

事務局 お二人の研修会にかける思いが伝わってくるコメントですね。さて、これからモリーダー会に関わられますか。

大村真子さん・水本智大さん はい、熊本に住んでいるならこれからも関わりたいです。

事務局 力強い返事を頂きました。最後に、これからの夢といいますが、リーダー会でやってみたいことを教えていただけますか。

大村真子さん リーダー会にかかわっていく中で、違う地域のリーダーとのつながりができたので、違う地域との交流する機会を作ってみたいと思っています。そうしたら、もっとみんながながれて楽しく活動ができると思います。

水本智大さん 熊本県内にある地域（子ども会）の交流を企画したいです。例えば、玉名市と氷川町とが遠くの地域の交流ができるようにしたいです。人と人が繋がるように、住んでいる地域のみでの繋がりではなく、地域超えての交流があれば、ジュニアの後でも繋がりが続くのではないのでしょうか。そういうことができていたら良いなあとと思っています。

事務局 今後も、お二人には、熊本県子ども会のリーダー会をリー

ドしていただくことを期待しております。本日は、お忙しい中、インタビューを快く引き受けていただき、ありがとうございました。

事務局 お二人の受け答えをお聞きしながら、リーダー会も楽しみになってきました。熊本県子ども会の合言葉に「子ども達の手による子ども会活動」とありますが、子ども会の魅力は子ども達の発想によりオリジナルの取組ができる事かもしれませんね。熊本県下のジュニア・リーダーの皆さん、リーダー会へは中学生・高校生ならば、だれでも入ることができます。是非、リーダー会で自分の可能性を広げてみてはいかがでしょうか。



JL研修会参加の皆さん（令和3年12月）